

第87期(中間期)

株主通信

2022年4月1日～2022年9月30日

株主の皆様へ P1

ツムラグループのビジョン P2

事業概況 P3

特集:第1期中期経営計画 P5

TOPICS P7

株主総会資料の電子提供制度のご案内 P12

連結財務諸表 P13

会社の概要/株式の状況 P14



株式会社ツムラ

証券コード：4540

写真は「葛根湯(カッコントウ)」を構成する7つの生薬です

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第87期(中間期)の株主通信をお届けし、事業の概況をご報告申し上げます。

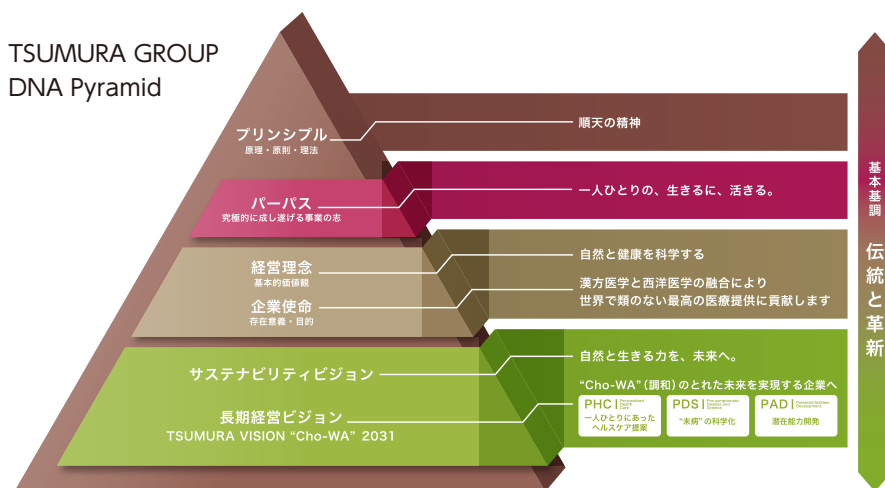
2022年4月、当社グループは新たに「パーパス」を制定し、2つのビジョン「サステナビリティビジョン」「長期経営ビジョン TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」を策定しました。

当社グループの事業は、原料生薬の栽培からはじまる“漢方バリューチェーン”によって構成され、自然環境と深い関わりがあります。事業の根幹を成す「自然」に向き合い、「自然環境の変化や危機に最も敏感な企業」であり続け、豊かな自然を未来へつなげていく決意をサステナビリティビジョン「自然と生きる力を、未来へ。」というメッセージに込めて、人間・社会・地球環境のサステナビリティを推進します。

長期経営ビジョンでは、その実現に向けた3つのステージ(中期経営計画)としてロードマップを描きました。2022年度からはじまる1stステージでは、国内漢方事業の持続的な安定成長を支えるべく、生産能力の増強と生産性向上(自動化・DX化)を目的とした設備投資や研究開発等への投資、中国事業においては、生薬・製剤の品質標準化を目的とした中薬研究センターやIT基盤構築に必要な投資を行います。2ndステージでは、事業や設備稼働が本格化、3rdステージで投資の成果を本格的に回収する計画です。2つの新たなビジョンの実現に向け全社一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 CEO 加藤 照和



ツムラグループのビジョン

サステナビリティビジョン「自然と生きる力を、未来へ。」

ツムラグループは、人類の叡智である漢方がもたらす調和を、すこやかな巡りを人間だけでなく社会にまで、そして地球にまでの規模へ広げていきたいと考えています。人間本来の生きる力を引き出す、心身の調和と循環はもちろん、すこやかな人々がいきいきと生きる社会。そして、有限の資源が循環する地球環境づくりまで、私たちは追究していきます。自然と健康を科学し、人、社会、そして地球がよい調和をもち豊かにすこやかに巡る、そのような地球全体のwell-beingを実現していきます。

2022年10月、人間・社会・地球環境のサステナビリティにツムラグループがどのように貢献すべきかを整理した重要方針として「サステナビリティ憲章」を制定しました。

サステナビリティ憲章

<https://www.tsumura.co.jp/sustainability/charter/index.html>



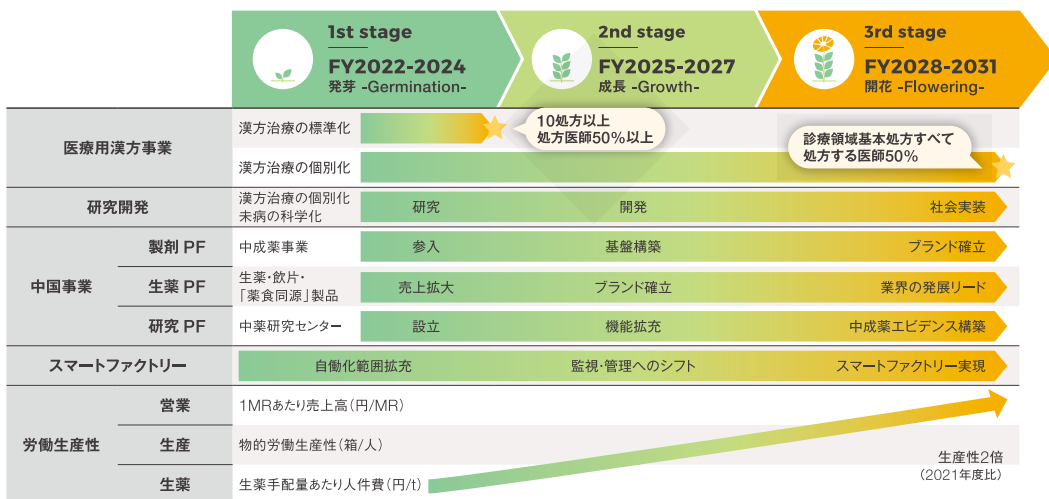
長期経営ビジョン「TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」 “Cho-WA” (調和) のとれた未来を実現する企業へ

次なる10年先のツムラグループのあるべき姿として、PHC: Personalized Health Care (一人ひとりにあったヘルスケア提案)、PDS: Pre-symptomatic Disease and Science (“未病*”の科学化)、PAD: Potential-Abilities Development (潜在能力開発)の3つの“P”を通じて、心と身体、個人と社会が“Cho-WA” (調和) のとれた未来を目指します。

一人ひとりのライフステージ・症状・遺伝体質・生活環境等に合わせて、漢方薬・中薬をはじめとした製商品・サービスをエビデンスベースで提供することにより、人々のwell-beingに貢献していきます。

* 未病: 病気ではないが、健康でもない状態であり、病気になる前段階。

TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031実現へのロードマップ



事業概況

業績の概況

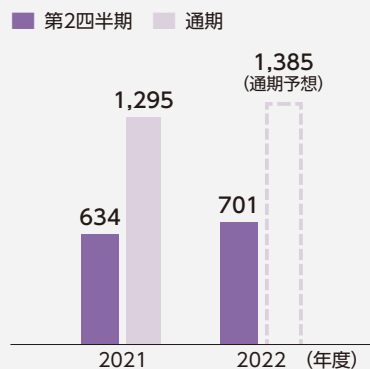
● 連結業績

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べ10.5%増加し、70,107百万円となりました。国内の売上高は、62,914百万円となりました。医療用漢方製剤129処方の売上高は、e-プロモーションの拡充を進めたことに加え、新型コロナウイルス感染時の症状（発熱、咳等）や後遺症（咳、倦怠感、不安等）に関連する処方および猛暑による季節性の症状（食欲不振、夏やせ等）に使われる処方が伸長した結果、前年同期と比べ6.8%増加しました。育薬処方の合計は、前年同期と比べ2.6%増加し、主力である大建中湯は前年同期と比べ2.9%増加しました。Growing処方の合計は、前年同期と比べ11.7%増加しました。また、国内の一般用漢方製剤等の売上高は、取り扱い店舗数の拡大により前年同期と比べ20.0%増加し、2,003百万円となりました。海外の売上高は、原料生薬と飲片（刻み生薬）の販売を中心とする生薬プラットフォーム（平安津村薬業有限公司、深圳津村薬業有限公司等）の売上高が大きく寄与し、7,193百万円となりました。

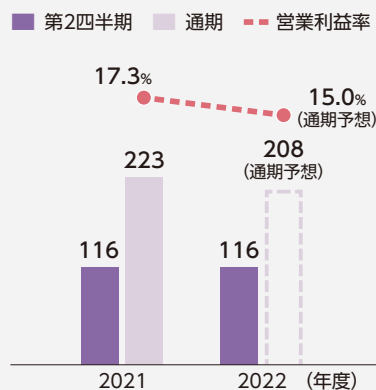
売上原価は、売上高の伸長とエネルギー価格・原資材価格等の高騰により前年同期と比べ14.9%増加し、35,297百万円となりました。販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ10.1%増加し、23,132百万円となりました。主に天津工場の稼働に向けた一時費用によるものです。

以上の結果、営業利益は前年同期と比べ0.1%減少し、11,677百万円となりました。経常利益は、為替差益の影響により、前年同期と比べ19.1%増加し、15,965百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期と比べ19.3%増加し、11,889百万円となりました。

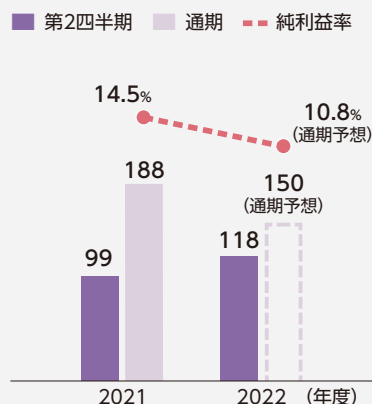
売上高(億円)



営業利益(億円)



親会社株主に帰属する四半期純利益(億円)



医療用漢方製剤の概況

当社は、「高齢者関連領域」「がん領域(支持療法*)」「女性関連領域」を重点領域として活動しています。多くの患者様の健康に貢献できるよう、医療関係者の多様なニーズに対応し、基礎・臨床エビデンス、漢方掲載の診療ガイドライン、漢方医学的な処方の使い分け等に関する適切な情報提供活動を実施しています。2022年度からはGrowing処方のうち麦門冬湯と芍薬甘草湯については、エビデンスの構築や診療ガイドラインへの収載など一定の成果を達成したことから、新たな成長ドライバーとして人參養榮湯と加味帰脾湯との入れ替えを行いました。

重点3領域と育薬処方・Growing処方

① 育薬処方 ② Growing処方 ③ 新Growing処方

高齢者関連領域	がん領域(支持療法*)	女性関連領域	育薬処方
フレイルにともなう諸症状 ② 人參養榮湯 ② 加味帰脾湯 ② 補中益気湯 ② 牛車腎気丸 +関連処方 精神・神経疾患 ① 抑肝散 +関連処方	副作用の軽減など ① 六君子湯 ① 半夏瀉心湯 ① 牛車腎気丸 ② 加味帰脾湯 ② 補中益気湯 +関連処方	産婦人科疾患 ② 加味逍遙散 ② 加味帰脾湯 +関連処方 その他 ① 大建中湯 ② 五苓散 +関連処方	医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス(科学的根拠)を確立する処方 Growing処方 育薬5処方に続く注力処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築(安全性・有効性データ等)により診療ガイドライン収載を目指す処方

* 支持療法：がんそのものにとまなう症状や、がん治療による副作用の症状を軽減させる等の治療。

育薬処方・Growing処方 売上高

(単位:百万円)

	売上順位	製品No. / 処方名	前第2四半期(2021年度)	当第2四半期(2022年度)	増減額	前年同期比
育薬処方	1	100 大建中湯	4,790	4,927	+137	+2.9%
	3	54 抑肝散	3,720	3,775	+55	+1.5%
	4	43 六君子湯	3,557	3,698	+141	+4.0%
	8	107 牛車腎気丸	1,736	1,755	+18	+1.1%
	23	14 半夏瀉心湯	678	708	+30	+4.4%
育薬処方合計			14,482	14,865	+382	+2.6%
Growing処方	2	41 補中益気湯	3,741	4,060	+319	+8.5%
	5	17 五苓散	2,680	3,198	+517	+19.3%
	7	24 加味逍遙散	2,415	2,583	+168	+7.0%
	16	108 人參養榮湯	961	1,034	+73	+7.6%
	17	137 加味帰脾湯	849	1,013	+164	+19.3%
Growing処方合計			10,647	11,890	+1,242	+11.7%
育薬・Growing処方以外の119処方合計			31,247	33,435	+2,188	+7.0%
医療用漢方製剤129処方合計			56,377	60,191	+3,814	+6.8%

特集：第1期中期経営計画（2022～2024年度）

PickUP 1

インタビュー：ビジョン実現に向けた基盤構築



取締役Co-CEO
杉井 圭

Q:Co-CEOとしての役割についてお聞かせください。

私の役割は、ツムラグループ全体（中国事業を除く）の最高執行責任者として、長期経営ビジョン「TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」の実現に向けた様々なチャレンジを仕掛けていくにあたり、まずは漢方バリューチェーンを強化し臨戦体制を整えることです。

組織間のコミュニケーションを活性化させることで横断的な連携を促すとともに、社員一人ひとりの業務がビジョン実現や中期経営計画達成に貢献していることを実感できるような実効性の高いKPIマネジメントの仕組みを作り上げていきます。

Q:長期経営ビジョンにおける第1期中期経営計画の位置づけを教えてください。

第1期中期経営計画では、今後の「成長」に向けた先行投資を通じて事業基盤を構築します。これまでも取り組んできた全生産工程におけるスマートファクトリーを目指した自動化の推進に加え、生薬の栽培・調達・加工から販売・啓発・普及に至るまでの漢方バリューチェーン全域におけるDXへ積極的に投資します。また、漢方治療の個別化や未病の科学化といったビジョン実現に向けた研究開発にも、重点的に投資していきます。大規模な投資となりますので、その効果を十分に測定し、投資対効果を高めていきます。

Q:サステナビリティ推進におけるツムラならではの取り組みを教えてください。

当社は2031年度までに「温室効果ガス排出量50%削減」、「環境対応型包装資材への転換」、「水・廃棄物（生薬残渣）の循環化」をサステナビリティ・ターゲット2031として設定しました。具体的には、漢方製剤の原料である生薬からエキスを抽出する過程で使用する水の再利用に取り組んでいます。併せて、絞り切った生薬残渣は、燃料として再利用することを視野に入れた研究も進めています。

第1期中期経営計画 戦略課題

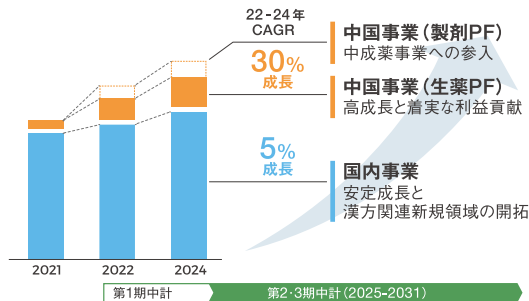
- 01 医師一人ひとりにあった漢方ソリューションの提供による漢方市場の継続的拡大
- 02 KAMPOmics*による漢方のエビデンス構築と未病の科学化の推進
- 03 中国における生薬・飲片の売上拡大と中成薬事業への参入
- 04 漢方バリューチェーン改革に向けたIT基盤刷新と生薬選別、製造工程におけるAI・ロボット活用の推進
- 05 組織資本・人的資本による価値の創造と働きがい改革の推進



サステナビリティビジョンの実現に向けた取り組み

* KAMPOmics：ツムラの強みである先端技術（メタボローム・遺伝子・腸内細菌・システムバイオロジーなど）の研究を組み合わせ、日本の伝統医学である漢方医学と、多成分で複雑な漢方薬を統合的に理解するためのツムラ独自の研究パッケージで、当社の登録商標。

国内の漢方製剤事業は、処方医師数増加・市場拡大にともない、持続的な安定成長を目指します。中国事業の生薬プラットフォームは、飲片の販路拡大などにより高成長を、製剤プラットフォーム事業は、中成薬企業のM&Aなどによる基盤構築を早期に進めていきます。



数値目標（2024年度）



前提条件：
（薬価改定） FY2022、FY2023、FY2024
（為替レート） FY2022 19.5円/元、125.0円/米ドル
FY2023-24 19.0円/元、120.0円/米ドル

重点3領域に活動を集中させ、社会課題の解決に貢献

重点3領域についてはP4参照

「高齢者関連領域」では、高齢化の加速により、様々な高齢化疾患が急増すると推測されています。特にフレイル*にともなう諸症状の改善により重症化を抑制し、高齢者が自立した日常生活を営むことができる社会の実現に貢献していきます。

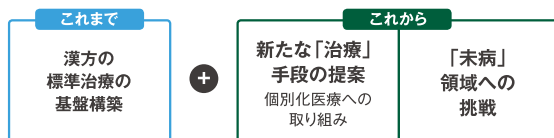
「がん領域（支持療法）」では、がん治療の副作用軽減、身体的苦痛や精神的苦痛などを漢方薬で和らげることにより、QOLを向上させ社会復帰の一助となるように取り組んでいます。

「女性関連領域」では、月経前症候群や更年期障害などのホルモンバランスの乱れなどによる不調などで、能力を最大限発揮することの妨げになっているケースにおいて、漢方薬で症状の改善ができるよう情報提供を強化していきます。

* フレイル：加齢により健康な状態と要介護状態の間の心身の活力が低下した状態。

KAMPOmicsによる漢方のエビデンス構築と未病の科学化の推進

これまでの育薬研究を通じて、エビデンスが数多く集積されてきました。今後はこれまで取り組んできた漢方の標準治療の基盤構築に加え、新たな「治療」手段の提案（個別化医療への取り組み）と「未病」領域への挑戦に注力していきます。



TOPICS

漢方や医療、健康に関する様々な情報を提供

一般生活者に向けたフォーラム・イベントへの協賛

当社は、社会課題である高齢者関連領域・がん領域(支持療法)・女性関連領域を中心に、一般生活者に向けた医療や健康に関するフォーラムやイベントに協賛し、漢方に関する様々な情報を提供しております。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、状況に応じてそれぞれ会場開催・Web開催・ハイブリッド開催しております。すでに開催したイベント、今後開催予定のイベントは下表の通りです。

フォーラムがんと生きる

日程	開催地	参加者数	主催
2022年7月24日	石川	291名	NHK厚生文化事業団 NHKエンタープライズ 読売新聞社
2022年11月12日	千葉	—	
2023年2月5日	東京(Web)	—	



長寿の未来フォーラム(愛知)

長寿の未来フォーラム

日程	開催地	参加者数	主催
2022年9月25日	愛知	380名	NHK厚生文化事業団 NHKエンタープライズ
2023年3月予定	島根(Web)	—	



一般用漢方製剤や生薬見本などを展示

健康応援フェスタ

日程	開催地	参加者数	主催
2022年7月31日	神戸	404名	NHKエデュケーショナル
2022年8月25日	東京	519名	
2022年9月29日	広島	440名	



健康応援フェスタ(東京)

女性のための漢方セミナー

日程	開催地	参加者数	主催
2023年2月予定	大阪	—	読売新聞社
2023年3月予定	Web	—	産経新聞社

最新のイベント情報 (Kampo Viewサイト内)はこちら
<https://www.kampo-view.com/event>



#OneMoreChoice プロジェクト

一人ひとりの我慢に代わる選択肢“#OneMoreChoice”

当社は、誰もが不調を無理に我慢することなく、心地よく生きられる健やかな社会を目指し、2021年3月から「#OneMoreChoice プロジェクト」に取り組んでいます。2022年からは、「違いを知ることからはじめよう。#わたしの生理のかたち」というメッセージとともに2年目の活動をスタートしました。「隠れ我慢」をなくすため、自分の身体と向き合い、周りの辛さを思いやることで対話が生まれるような取り組みを進めています。当社社員が不調を「隠れ我慢」しない企業でありたいと考え、社内のワーキンググループで開発した#OneMoreChoice 研修の社外提供も開始しました。



#OneMoreChoice プロジェクト×voicy

女性の健康課題解決に向け宝島社が取り組む「もっと話そう!Hello Femtech」プロジェクトとの協同や「voicy*1」での対談企画、「note*2」の#OneMoreChoice プロジェクトアカウントからの情報発信をしています。

■ 経済産業省が考える女性の健康課題

経済産業省経済社会政策室にて「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」を推進する川村美穂さん、間瀬菜生子さんにインタビューしました。ライフステージにわたって寄り添い健康課題解決に取り組むことの大切さをお話しされています。このインタビュー記事やプロジェクトの活動内容は、当社HPの#OneMoreChoice プロジェクトサイトでご覧いただけます。



#OneMoreChoice プロジェクトが 広告電通賞「SDGs特別賞」を受賞

一人ひとりが感じている生理痛やPMS*3の目に見えない不調を可視化した広告や動画が、2022年8月に第75回広告電通賞「SDGs特別賞」を受賞しました。SDGsの達成に向け広告にできることを真摯に模索した作品として評価いただきました。

*1 国内最大級の音声プラットフォーム。

*2 クリエイターが投稿する文章や画像などを、ユーザーが応援できるメディアプラットフォーム。

*3 Premenstrual syndrome(月経前症候群)：月経前、3~10日間続く精神的あるいは身体的症状で、月経開始とともに軽快ないし消失するもの。

TOPICS

IR情報サイトの紹介

IR情報サイトへのアクセス方法

IR情報をクリック

▲トップページ
「個人投資家の皆さまへ」
最新のIR情報を掲載しています。
<https://www.tsumura.co.jp/ir/investor/index.html>

▲IR情報ページ

メール配信サービス
最新のIR情報をメールでお届けします。

個人投資家向けイベント報告

オンライン企業IRセミナー (auカブコム証券 主催)

2022年8月29日開催 登壇者: 取締役Co-CEO 杉井



▶ オンデマンド配信 (YouTube)
<https://www.youtube.com/watch?v=95EoIF1-7NY>

さわかみファンド運用報告会 (さわかみ投信 主催)

2022年9月10日開催 登壇者: 取締役Co-CEO 杉井

企業講演「自然と生きる力を、未来へ。」
当社の事業と成長戦略などについて紹介。

鎌倉投信 受益者総会 (鎌倉投信 主催)

2022年9月25日開催

「技術の継承」をテーマに、漢方製剤の品質研究、残留農薬の試験法開発などの取り組みを紹介。

今後の予定

IRセミナー (日本投資環境研究所 主催)

2022年12月19日 13:00~13:45開催 Web形式

よくある質問

Q: 新型コロナウイルス感染症に効果がある漢方薬はありますか。

A: 新型コロナウイルス感染症に適用がある漢方薬はありませんが、新型コロナウイルス感染症にともなう発熱、咳、のどの痛み、感染後の不安感、不眠、めまい、倦怠感などに漢方薬が使われています。

Q: 漢方薬が処方してもらえる医療機関を探すにはどうすればいいですか。

A: 「漢方のお医者さん探し」[QLife漢方Clinic]などの検索サイトで、漢方を処方している病院の検索が可能ですので、参考にしてください。

漢方に詳しい病院検索サイト(外部サイト)

漢方のお医者さん探し

<https://www.gokinjo.co.jp/kampo>



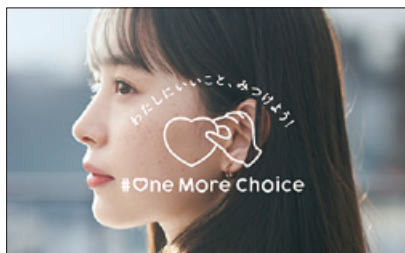
QLife漢方Clinic

<https://www qlife-kampo.jp/clinic>



一般生活者向けサイトの紹介

1 #OneMoreChoice プロジェクト <https://www.tsumura.co.jp/onemorechoice>



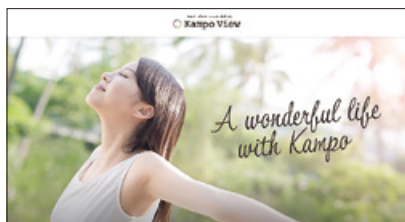
誰もがが不調を無理に我慢することなく、心地よく生きられる健やかな社会を目指し活動している#OneMoreChoice プロジェクト。

著名人の我慢以外の選択肢についてのインタビューのほか、プロジェクトムービー、隠れ我慢チェッカー、各種調査結果も掲載しています。



2 Kampo View

<https://www.kampo-view.com>



「キレイ・ゲンキ・ハッピーをずっと」をテーマに、カラダとココロの健康をサポートするコンテンツを通じて、漢方の知識を深めていただくための情報をお届けしています。



3 LIFE with KAMPO 漢方のある暮らし

<https://www.tsumurakampo.jp>

日常生活の中に「漢方」を取り入れている方々へのインタビューを通して、「漢方」との上手な付き合い方や、「漢方のある暮らし」がもたらすメリットについて、分かりやすく紹介しています。



4 温 the LIFE 冷え症と上手につきあう

<https://www.tsumura-hieshou.jp>

漢方は、からだ全体を整え、「生きる」力を引き出すこと。からだの状態に対して余裕をもち、たとえ冷え症があっても、前向きに過ごせるヒントを提案します。



5 フレイルを知って健康長寿

<https://www.t-frailty.com>



人生100年時代といわれる超高齢社会の健康長寿を、あらゆる分野から皆さまとともに考えます。

フレイルを学び、予防して、いきいきとした毎日を。



TOPICS

社会活動紹介

「見て・ふれて、親子でワクワク体験 ～発見!漢方薬のひみつ～」を開催

漢方や生薬を幅広い世代に向けて理解いただくため、2022年7月末に小学生を対象としたイベントを北海道で開催しました。児童と保護者を合わせて17名が参加し、漢方薬の原料となる赤シソ(蘇葉:ソヨウ)の収穫体験をしました。漢方薬に関するクイズや成分の抽出実験も行い、漢方薬を身近に感じてもらうことができました。当社では引き続き生薬栽培を通じて、漢方薬の認知度向上のための活動を行っていきます。



赤シソ(蘇葉:ソヨウ)の葉だけを生薬として収穫します



子供たちから、たくさんの質問をいただきました

「KAMPOのヒ・ミ・ツを探る! 漢方記念館オンライン見学会」を初開催

茨城工場内にあるツムラ漢方記念館では、夏休み限定のオンライン見学会を開催しました。見学会は8月に計7回、小学5年生から中学3年生までの児童・生徒を対象に開催し、53組101人の親子が参加しました。ツムラ漢方記念館は通常、医療関係者向けの見学施設(現在は見学者上限5人まで)としてご利用いただいておりますが、今回は夏休みの自由研究に活用いただける内容に変更し、クイズも交えながら紹介しました。



生薬として使われる身近な食品を紹介



併設の薬草見本園からクイズを出題

バーチャル漢方記念館(漢方・生薬を学ぶ・知る・楽しむ)
<https://www.tsumura.co.jp/hellotsumura>

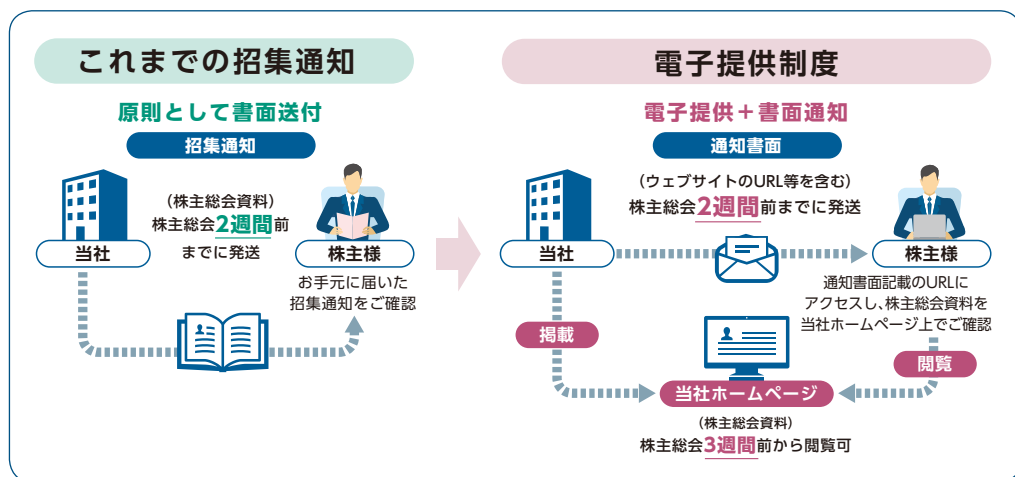


株主総会資料の電子提供制度のご案内

▶ 電子提供制度について

株主総会資料(招集通知)の電子提供制度とは、2022年9月1日に施行された「会社法の一部を改正する法律」に伴い、株主総会資料を自社のホームページ等のウェブサイトに掲載し、株主の皆様に対して当該ウェブサイトのアドレス等を書面で通知する方法により、株主総会資料を提供することができる制度です。

これに伴い2023年3月以降の株主総会(当社では2023年6月下旬開催予定の次回定時株主総会)よりこれまで郵送していた株主総会資料が原則ウェブ化されます。別途、同ご案内のリーフレットも同封しておりますのでご参照ください。



▶ 書面交付請求について

インターネットの利用が困難など、今後も書面による株主総会資料(招集通知)を希望される株主様につきましては、事前に書面交付請求のお手続きが必要となります。

お手続きの方法につきましては、以下、お問合せ先または口座を開設されている証券会社へご連絡ください。

電子提供制度・書面交付請求に関するお問合せ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(受付時間:土・日・祝日等を除く平日9:00~17:00)

電子提供制度
専用ダイヤル

0120-696-505

<https://www.tr.mufig.jp/daikou/denshi.html>



受付期限は、株主総会の基準日までです。来年の株主総会資料(招集通知)の書面発送を希望される株主様は、上記お問合せ先または証券会社にお申し出の上、2023年3月末日までにお手続きを完了いただけますようお願い申し上げます。

なお、書面交付請求の対象は、100株(単元株式)以上を保有されている株主様です。100株未満の株主様はお手続きいただくことができません。また、議決権行使書はこれまで通り書面でお送りいたしますので、書面交付請求をお手続きいただく必要はございません。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (2022年3月31日現在)	当第2四半期末 (2022年9月30日現在)	増減
資産の部			
流動資産	229,420	275,438	46,017
固定資産	121,561	127,492	5,931
有形固定資産	90,040	93,744	3,703
無形固定資産	12,328	14,578	2,250
投資その他の資産	19,192	19,169	△23
資産合計	350,981	402,930	51,948
負債の部			
流動負債	45,875	47,754	1,879
固定負債*	46,996	76,873	29,877
負債合計	92,871	124,628	31,756
純資産の部			
株主資本	226,121	235,184	9,062
その他の包括利益累計額	13,648	22,031	8,382
非支配株主持分	18,339	21,086	2,747
純資産合計	258,109	278,302	20,192
負債純資産合計	350,981	402,930	51,948

* 300億円の国内無担保普通社債を発行(2022年9月8日)。用途は設備投資資金など。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	増減
売上高	63,416	70,107	6,690
売上原価	30,721	35,297	4,575
売上総利益	32,695	34,809	2,114
販売費及び一般管理費	21,011	23,132	2,121
営業利益	11,684	11,677	△6
営業外収益	1,858	4,543	2,684
営業外費用	133	255	121
経常利益	13,409	15,965	2,556
特別利益	21	3	△17
特別損失	264	278	13
税金等調整前四半期純利益	13,165	15,690	2,525
法人税等	3,253	3,649	395
非支配株主に帰属する 四半期純利益	△54	152	206
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,965	11,889	1,923

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,815	9,688	△2,126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,600	△8,067	△4,467
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,733	26,992	29,726
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,145	4,262	2,116
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,627	32,876	25,249
現金及び現金同等物の期首残高	59,668	67,536	7,867
現金及び現金同等物の四半期末残高	67,296	100,412	33,116

会社の概要／株式の状況(2022年9月30日現在)

会社概要

本社	東京都港区赤坂二丁目17番11号
創業	1893年(明治26年)4月10日
設立	1936年(昭和11年)4月25日
資本金	301.42億円
従業員数 (就業人員数)	(単体)2,598名 (連結)3,939名

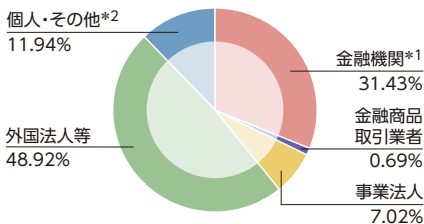
連結子会社

会社名	主要な事業内容
株式会社ロジテムツムラ	製品の運送および保管
株式会社タ張ツムラ	原料生薬の栽培・調達・選別加工および保管
津村(中国)有限公司	当社グループの中国における地域統括
深圳津村薬業有限公司	原料生薬の調達・選別加工・保管および販売
平村(深圳)医薬有限公司	医薬品・食品販売
上海津村製薬有限公司	漢方エキス粉末の製造および販売
天津津村製薬有限公司	漢方エキス粉末の製造および販売
平安津村有限公司	事業統括
平安津村薬業有限公司	事業統括
盛実百草薬業有限公司	原料生薬の調達・選別加工・保管および販売
白山林村中薬開発有限公司	原料生薬の栽培・調達・選別加工および保管
TSUMURA USA, INC.	米国における医薬品開発
その他3社	

株式の状況

- 発行可能株式総数 250,000,000株
- 発行済株式の総数 76,758,362株
(自己株式 229,282株を含む)
- 株主数 14,032名

〈所有者別株式分布状況〉



*1 「金融機関」には、役員報酬BIP信託の信託財産として保有する自己株式137,800株を含めています。

*2 「個人・その他」には、自己株式229,282株を含めています。

● 大株主の状況

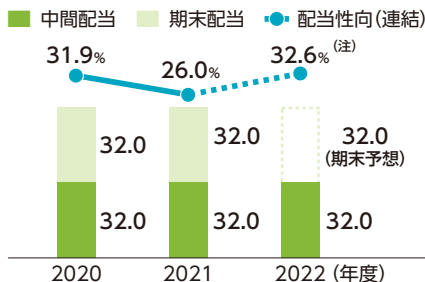
株主名	持株数 千株	持株比率 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,103	17.12
BANK OF CHINA (HONG KONG) LIMITED-PING AN LIFE INSURANCE COMPANY OF CHINA, LIMITED	7,675	10.03
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,673	4.80
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	2,747	3.59
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	2,326	3.04
株式会社三菱UFJ銀行	2,197	2.87
ツムラグループ従業員持株会	1,756	2.30
BRIGHT RIDE LIMITED	1,692	2.21
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	1,585	2.07
JP MORGAN CHASE BANK 380634	1,400	1.83

(注)持株比率は自己株式229,282株を控除して計算しています。

なお、上記自己株式には役員報酬BIP信託の信託財産として保有する自己株式137,800株は含まれていません。

配当金

配当金の推移(円)



(注)2022年度期末配当金・配当性向(予想)は、第87回定時株主総会による配当議案決議が前提の予想数値を記載。

当社では、株主還元につきましては、以下の方針としています

- 国内事業の持続的な拡大と中国事業の成長投資および基盤構築を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施する

株主様向け
アンケート



株主の皆様は大切なパートナーです

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。（所要時間は5分程度です）

- ①下記URLにアクセス
- ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 4540

……以下の方法でもアンケートにアクセスできます……

検索窓から

kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（QUOカードPay500円）を進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

<https://www.link-cc.co.jp>

●アンケートのお問合せ「e-株主リサーチ事務局」

MAIL: info@e-kabunushi.com

株主優待制度のご案内

【保有年数継続3年以上】

◎薬用入浴液バスハーブ

- ・100株以上
小(210ml)×1本
- ・1,000株以上
大(650ml)×1本



◎ツムラ漢方記念館見学会ご招待(年数回)

- ・100株以上
ご応募の株主様から抽選で各40名様ご招待



※新型コロナウイルス感染症等の影響から定員の調整や開催を中止する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

詳細はこちらの2次元コードから
アクセスしてください。



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日等を除く)
同連絡先	東京証券取引所プライム市場
上場証券取引所	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.tsumura.co.jp/ir/stock/kokoku/index.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店におきましてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

自然と健康を科学する



コーポレート・コミュニケーション室 IR推進グループ
〒107-8521 東京都港区赤坂二丁目17番11号
TEL 03-6361-7101

